

登米市のできごと  
おしらせします！

# TOPICS

## 練習・鍛錬の成果や 地域の伝統芸能を披露

### 芸能祭・文化祭、 秋まつりが各地区で開催

芸能祭や文化祭、秋まつりが10月から11月にかけて、市内各地区で開催されました。芸能祭では、各地域に伝わる伝統芸能や歌、踊りなどを披露。文化祭では、市内のさまざまなサークルの皆さんが、日ごろの成果や丹精のこもった作品などの展示発表があり

ました。

津山町では「つやまもくもくランド秋まつり」(同まつり実行委員会主催)が10月30日、道の駅「もくもくランド」で開催。さまざまな農産物などが並べられ、特に新米を使ったあんこもちと納豆もちが人気でした。



約800発の花火が夜空を飾りました(津山町)



直径2mの大鍋で作られた千人分の芋煮汁(石越町)

夜には、約800発の花火が打ち上げられ、もくもくランドの建物全体はライトアップで、幻想的な雰囲気になっていました。

石越町では「まるごといしこしまつり」(同まつり実行委員会主催)が11月6日、チャヤワールドいしこしで開催されました。市内外から約2,500人が来場。よさこい踊り、レクダンス、和太鼓演奏、アマチュアバンド演奏などが披露されました。

まつりの目玉は直径2mの大鍋を使った千人芋煮鍋。地元産の野菜や豚肉が入った芋煮汁が振る舞われ、人気を集めました。



町内の小学生たちが歌を披露しました(東和町)

東和町では「東和の秋まつり」(同まつり実行委員会主催)が11月6日、道の駅「林館」で開催されました。東和町内の小中学生らによる歌や踊り、恵泉会の皆さんによる太鼓演奏などが披露されました。

お楽しみクイズには子どもから大人まで約百人が参加。合併にちなんだ問題が出題され、最後まで正解した優勝者には、地場産品のセットが贈られました。

各地区で開催された芸能祭・文化祭、秋まつりは、それぞれの地区の伝統や文化、地場産品など地域色あふれるものでした。



街頭で防火啓発用ティッシュを配る防火クラブの皆さん

秋季火災予防運動の一環として、11月9日から15日まで、米山町で火災予防の啓発活動などが展開されました。

期間中は、米山町消防団と婦人防火クラブの皆さんが早朝から街頭活動を実施。交差点で「火の用心」の登り旗を掲げ、啓発用のティッシュをドライバーに配り、防火を呼びかけました。

また、各家庭の防火診断や

### 米山で秋季火災予防運動

## 火の取り扱いに注意を！

消防車両を使った夜間巡回を実施して、注意を呼びかけました。

婦人防火クラブ会長の武田睦美さん（米山町）は、「啓発活動を通して、少しでも火災予防に対する意識を持つてほしいです」と話しました。

空気が乾燥して、火災が発生しやすいこの季節。火の取り扱いには十分に注意しましょう。

## 空から眺める思い出の校舎

柳津、横山小6年生が熱気球体験



熱気球に搭乗する子どもたち

熱気球搭乗体験が11月5日、津山町の柳津小学校・横山小学校の校庭で実施され、柳津小学校から15人、横山小学校から18人の6年生児童33人が参加しました。

この企画は、みやぎ北上商

工会青年部津山支部（杉田観雄支部長）が「熱気球に乗って上空から校舎や街並みを眺め、小学校生活最後の思い出を作ってあげたい」という思いから毎年実施され、今年で8回目になります。

山元町の熱気球クラブ「永飛男」の協力のもと、風が穏やかな午前7時から約1時間搭乗。1回の飛行で4人の児童が約5分間楽しみました。

子どもたちは、上空約30メートルまで上がった熱気球から、校舎や市内の街並みを見下ろし、友達や家族たちに楽しそうに手を振っていました。

## 動物とのふれあいを楽しむ

登米で動物ふれあい教室



動物との接し方を教わる園児たち

動物ふれあい教室（登米保健所、動物愛護センター、登米市共催）が11月8日、登米幼稚園で開催されました。

教室は、小動物とのふれあいを通じて動物に対する愛情



かわいい子犬を抱えたりして楽しみました

をほぐくむことを目的に開催されています。

教室には、登米幼稚園と登米保育所、北上保育園の園児89人が参加。愛護センター職員から動物との接し方を教えてもらった後、ウサギやモルモットに餌を与えたり、子犬を抱えたりして動物たちとのふれあいを楽しみました。

児童の中には、少し緊張していた子もいましたが、時間がたつにつれ、だんだんと慣れた様子で楽しそうに接していました。

参加した児童は「とてもかわい。家でも動物を飼ってみたい」と話しました。